



史蹟史料部

2023年8月17日

#38

日本人墓地公園

ニュースレター

上山柑翁（うえやま かんおう）の墓

今回は、フラワーアーチの一番奥、[ニュースレター#5](#)の二葉亭四迷の碑の隣にある、上山柑翁の墓をご紹介します。

上山は、1889（明治22）年9月17日、蚊取り線香の発明者であり、大日本除虫菊株式会社の創業者である上山英一郎の長男として生まれました。本名は上山英之助。柑翁は雅号です。

大日本除虫菊株式会社は、金鳥蚊取り線香で有名な、殺虫剤など衛生薬品の製造・販売をおこなう日本の日用品メーカーです。

1913（大正2）年に24才で東京高商（現一橋大学）を卒業、同年上山商店に入社しました。

1930（昭和5）年 第二代社長に就任。1935（昭和10）年、社名を現在の大日本除虫菊株式会社に変更しました。

1942（昭和17）年、日本農産物輸出組合理事長、南洋ゴム拓殖（株）社長に就任。日本軍の囑託として当地に営業所を開設しました。

軍属としてインドネシアのスマトラで殺虫効果のある除虫菊の栽培を行うため、センバワン飛行場を離陸した直後、搭乗機が墜落し、死去されました。

出典：日本人墓地公園サインボード



フラワーアーチの奥にあるのが二葉亭四迷の碑。正面から見て、その右側にあるのが上山柑翁のお墓です。

日本人墓地公園内に現在 910 基ある墓碑の中でも、広いスペースが取られた特徴のあるお墓で、墓地ツアーでは必ずご紹介をさせていただいております。



このお墓を囲うように、色鮮やかなオレンジ色の花・イソクラが咲いてるのが目印です。花径 1cm 程の小花を 20～30 輪まとめて半球状に咲かせ、遠くからでも見つけることができます。

史蹟史料部がいつ墓地公園を訪れても、このオレンジ色の花がきれいに咲いています。日本人墓地公園にお越しの際は、御堂まわりだけでなく、ぜひフラワーアーチの奥まで歩いてみてくださいね。